

姫路医療センターさくらんぼクラブ通信

さくらんぼクラブは、がん患者さんとご家族のための会です

2012年8月 第27号

6月・7月のさくらんぼクラブ

6月22日のさくらんぼクラブは、初めて来られた方3名を含む8名で行いました。「毎週第4金曜日開催」となっているのですが、「第4週＝最終週」と勘違いし、うっかり参加できなかった方もいらっしゃったようでした。本年度は11月・12月は休日の関係で開催日が変更されていますので、参加しようと思われる方は、ぜひスケジュールを確認してください！年間スケジュールはさくらんぼクラブの案内チラシの裏面に載っています。

7月27日のさくらんぼクラブには9名が集まりました。新しい方はいらっしゃいませんでしたが、久々に顔を出してくれた方がいて、質問攻めにあっていました。古くからの参加者には懐かしく、また最近参加し始めた人にとっても他院での入院・治療を受けているという話は興味深いようです。どこの病院の食事がおいしかった、とか、いろんな病院の情報が飛び交い、さくらんぼクラブでの雑談は「情報」「クチコミ」といった重要なお話が隠されているなど、つくづく思います。



Sweet Tree より、今月の貼り絵です。

夏の夜空に花火が舞っている様子が、美しく描かれています。



今後のさくらんぼクラブ

2012年8月24日（金）

2012年9月28日（金）

2012年10月26日（金）

2012年11月22日（木）

2012年12月21日（金）

2013年1月25日（金）

時間は **10:00～12:00** です

姫路医療センター1階

がん相談支援室でお待ちしています



がん相談支援室の個室相談室にほどこされているウォールアートです。渡り鳥たちの羽ばたく感じがとても清々しく、写真に撮りました。ふと気づくと他にもいろいろなアートがあり、ホッとします。

さくらんぼクラブ通信は、さくらんぼクラブ会員である患者さんやそのご家族の体験・言葉で構成され、姫路医療センターがん相談支援室が発行しています。

血液のがん

初参加の方々は偶然いずれも血液のがんに関わっているとのことでした。血液のがんは罹患人数の多いがん（胃、肺、大腸、乳、肝など）に比べると患者数は少ないと思っていましたが、最近のさくらんぼクラブには血液のがん患者さん来訪が続いています。仲間が少ないがんだからこそ、このような患者会に行こうと思われるのかもしれないですね。

悪性リンパ腫の患者さんの奥さんと娘さんは、今後積極的な治療ができないのなら自宅で過ごしたほうが良いのか、別の病気も抱えていて不安なので入院したほうが良いのか、迷っておられました。

MDS（骨髄異形成症候群）の患者さんは、耳慣れない病名に戸惑っておられました。健康だったその方が「おかしいな、いつもと違うな」と思われたのは、風邪の治りが遅いのを不審に思ったからだったのだそうです。

こんな時、同じ血液がん患者の集まりだったらもっと共感しあうことができたり、情報を得ることができたりするのでしょうか、部位を問わないさくらんぼクラブでは物足りなく思われたかもしれません。そういった時は、「がん相談支援室」のスタッフが頼りになると思います。さくらんぼクラブは「がん相談支援室」の中の一室で開催しているので、参加者との話し合い以外にも、個別に相談事がある場合は、予約の患者さんの合間に対応してもらうことが可能です。他の患者会の情報を教えてもらうこともできます。血液のがんの患者会も姫路にはあるようです。

さくらんぼクラブは、自分と同じ部位の人と知り合える機会であると同時に、ほかの部位の患者さんから、思いもよらない悩みや苦痛を聞くことで、自分（のがん）だけが大変なわけではない、それぞれに違った困難があることを知る場でもあるのだと思いました。



【かき氷】と書いたIさんには、外野から【猛暑】も加えたらどうかだの、【はじめました】も入れたら？だのとリクエストがあり、完成品はこうなりました！

【London オリンピック】と書いた人は、この写真では見にくいのですが、五輪の色を調べて忠実に描いていました。

7月のさくらんぼクラブでは、竹筆（細い竹の先を細く細く割いて筆の状態にしたもの）で文字を書きました。この竹筆は参加者のお一人が作ってきてくれたものです。思っていた以上に書きやすく、皆、頭に浮かんだ言葉を和紙にしたためました。上手下手は関係なく、味わいのある文字になりました。

【命のリュックサック】を書いたSさん、横断歩道を渡っている時、前方から来た右折車と接触してはずみで転倒したものの、背中のリュックサックがクッションになり、大したことにならなかったんだそうです。

【瓜や】フリーマーケットの屋号看板です！
【鈴虫】涼やか！
【果報は寝て待て】きっと言葉通りになると信じて！